東京都、スタートアップ支援拠点を整備へ 事業費25億円

#東京 #関東 #スタートアップ

2023/1/8 20:38

東京都は大規模なスタートアップの集積拠点を2023年度中にも設ける（8日）=東京都提供

東京都は2023年度、大規模なスタートアップ支援拠点を整備する。ベンチャーキャピタル（VC）やアクセラレーター（起業家育成組織）、大学、企業関係者が入る拠点を設け、スタートアップの育成支援につながる環境を整える。事業費は25億円を見込んでいる。24年度の本格開業を目指す。

8日に23年度予算案を査定した小池百合子知事が明らかにした。施設名称は「Tokyo Innovation Base」で、世界有数のスタートアップ支援拠点として知られるフランスの「ステーションF」を参考に整備する。

海外のランキング調査では、東京のスタートアップ育成環境は北京や上海、ソウルより順位が低い。米国に比べてスタートアップの起業数も乏しい。小池氏は査定後の記者会見で「スタートアップが生まれる東京をつくり上げる」と述べた。

23年度予算案には、大学発ベンチャー向けの100億円規模の官民連携のファンドの設立や、日本貿易振興機構（ジェトロ）と共同で海外のVCやアクセラレーターを誘致する事業も盛り込む。